

ポートアイランド・リノベーションプロジェクト

市民提案

2026年3月

●市民提案書の構成

・序 (本編：P2)

1章 経緯と課題 (本編：P3～16)

1.1 プロジェクトの背景と 方向性

1.2 意見交換の概要

1.3 深度化の方向性「3つの柱」

1.4 社会実験による検証

2章 市民提案 (本編：P17～34)

2.1 意見聴取の対象

- (1) 住民エリア
- (2) 大学エリア
- (3) ファッションタウンエリア
- (4) コンベンションエリア
- (5) 神戸医療産業都市エリア
- (6) 第2期企業エリア

2.2 意見聴取の方法

2.3 アンケート概要

2.4 提案の方向性

(6つのエリアごと)

3章 専門家意見 (本編：P35～44)

3.1 全体コンセプトの方向性

3.2 主な施策の方向性

3.3 6つのエリアの方向性と 主な施策案

(6つのエリアごと)

- 1) 具体化に向けた施策案
- 2) ありうべき提案

3.4 結論

・結 (本編：P45)

(1) 住宅エリア

2章 市民提案		3章 専門家意見	
課題・ニーズ	エリアの方向性	施策案	ありうべき提案
①人口構成：高齢化と定住性 ②島外消費の加速化 ③コミュニティの空洞化 ④将来像への希望 ⑤活性化拠点の整備と大学エリアとの交流 ⑥安全で快適な移動環境 ⑦注目される島へ ⑧生活防衛としての施設要望	<u>「多世代が交わる・ウォーカーブルな生活拠点」</u> 1)健康で活気あるまちの創出 2)豊かな日常のあるまちの創出 3)自然を感じるまちの創出	1)若年層流入のための住宅・小規模店舗の立地促進 2)エリアマネジメント事業体制の組成 3)公共空間の歩行環境・滞在快適性の向上	1)道路空間の余白を使いこなす中央都市軸の「ストリート・リノベーション」 2)住宅エリアと大学エリアの交流促進に向けた東西道路の高質化
本編：P22～P24		本編：P38	

(2) 大学エリア

2章 市民提案		3章 専門家意見	
課題・ニーズ	エリアの方向性	施策案	ありうべき提案
①通勤・通学のストレス ②島内移動の不便さと安全性の確保 ③医療産業都市と自然 ④連携への意欲 ⑤「職住近接・学住近接」の可能性 ⑥リソース提供の用意	<u>「キャンパスはまち・まちはキャンパス」</u> 1)ポータルライナー混雑の物理的解消 2)施設・情報の共有 3)学生の居住支援	1)街に開く「ボーダレス・キャンパス」 2)「移動」を快適な「滞留」に変える「モビリティ・ランドスケープ」	1)大学間の「物理的な壁」を撤去し、「アカデミック・プロムナード」を形成 2)学生の動線を「賑わい」に変える「キャンパス前ひろば」の再編
本編：P25～P26		本編：P39	

(3) ファッションタウンエリア

2章 市民提案		3章 専門家意見	
課題・ニーズ	エリアの方向性	施策案	ありうべき提案
①ソフトへの不満 ②再生に向けた転換 ③時代に合わせた柔軟な土地利用 ④ファッション産業から多様な産業の場へ ⑤協力の可能性	<u>「働き、住み、遊ぶ・ミクス トユース地区」</u> 1)柔軟な土地利用の推進 2)ファッションタウンの理念 のアップデート 3)地区計画改訂	1)民間主導による「エリア・ ブランディング」の実践 2)規制緩和による「まちらし いまち」への転換	1)沿道建築の「アクティブ・ フロント化」と界隈性の 創出 2)商業機能の誘導を促進する ための住宅誘致
本編：P27～P28		本編：P40	

(4) コンベンションエリア

2章 市民提案		3章 専門家意見	
課題・ニーズ	エリアの方向性	施策案	ありうべき提案
①アフターコンベンション ②ワークスペースの不足 ③歩行環境の悪さ ④MICEとしての将来像 ⑤まちの将来像 ⑥具体的な解決策への期待	<u>「世界と地域をつなぐ・ ショーケース」</u> 1)参加者向けランチ・ディ ナー情報発信 2)駅からの移動を促す移動 手段の実験 3)施設間の連携強化	1)Park MICEの推進による 地域住民との交流促進 2)プレイスメイキングによ る「滞在空間」の創出 3)民間投資を呼び込んだ既存 施設の改修による機能強化	1)アフターコンベンションを 彩る「ナイト・スケープ」 の演出 2)市民広場の「まちのラウ ンジ」化 3)コンベンション施設と公共 空間、周辺施設を一体的に 改修して機能強化
本編：P29～P30		本編：P41	

(5) 神戸医療産業都市エリア

2章 市民提案		3章 専門家意見	
課題・ニーズ	エリアの方向性	施策案	ありうべき提案
①ランチと生活利便性の課題	<p>「イノベーションが生まれる・交流の街」</p> <p>1)環境を活かした医療産業都市の推進</p> <p>2)交流・連携空間の活性化の推進</p> <p>3)まちの魅力向上施策の推進</p>	<p>1)多様な人材、企業の集積</p> <p>2)他地域コミュニティやクラスターとの連携強化</p> <p>3)まちづくり関連の民間投資の呼び込み</p>	<p>1)民間の知見や資源を活用した神戸医療産業都市の魅力向上</p> <p>2)交流できるカフェやラウンジの設置</p>
②インフラへの期待と不安			
③公共から民間へ			
④多様な人材の集積・往還とまちの魅力向上			
⑤企業間交流の強化・連携			
本編：P31～P32		本編：P42	

(6) 2期企業進出エリア

2章 市民提案		3章 専門家意見	
課題・ニーズ	エリアの方向性	施策案	ありうべき提案
①課題の同期 ②連携への意欲 ③神戸空港国際化への温度差 ④自然が感じられるまち ⑤昼食ニーズ	<u>「快適な操業環境と開かれた産業拠点」</u> 1)生活利便施設の補強 2)夜間の安全性と景観 3)企業間交流の拡充	1)エリア一括でのキッチンカー配車 2)オープン・イノベーションを誘発 3)ウォークブル・ネットワーク	1)駐車場・空地を「アウトドア・フードコート」へ転換 2)ロード・ダイエットによる軽車両通行帯の整備
本編：P33～P34		本編：P43	

「健康を基盤とした再未来化 Helthiness based Re-Futurelizing」

方向性(1) 民間投資を誘発する「規制緩和」によるマクロなアクティブ化

方向性(2) マネジメント体制の構築によるストリートデザイン

方向性(3) グリーンインフラとストリートマネジメントによる健康増進

方向性(4) 社会実験の成果を活かした島内交通の課題解決